

小学校・理科

【 生命 】

<定着が見られる内容>

- 動物の体の仕組みを表す用語を理解している。
- 動物の体の仕組みを模型に当てはめて説明することができる。

<課題が見られる内容>

- ◆生物を観察する際、生物を愛護する態度の醸成が不十分である。
- ◆観察のねらいに即した視点で結果を捉え、考えをまとめることに課題がある。

指導改善のポイント

- ☆対象やねらいに即した観察方法を検討させる場の充実を図る。
- ☆複数の観察結果の共通性や多様性に注目させ、観察のねらいに即した視点で考察させる授業づくりを進める。

【 地球 】

<定着が見られる内容>

- 堆積作用について、基礎的な名称と仕組みを概ね理解している。
- 自然現象の変化に伴う影響について、複数の情報を関係付けた多面的な捉え方ができる。

<課題が見られる内容>

- ◆自然現象とその影響を確かめる実験において、起因と結果を関連付けて捉え、考えをまとめることに課題がある。

指導改善のポイント

- ☆複数の実験結果の分析を通じて、根拠を明確にしながら自分の考えをまとめることを意識させる指導の充実を図る。

【 エネルギー 】

<定着が見られる内容>

- 回路を流れる電流について、実験の予想と結果を関連付けながら実験を組み立てることができる。
- 実験結果をもとに、自分の考えをより妥当なものに考え直すことができる。

<課題が見られる内容>

- ◆学んだ知識・技能や生活経験を、目的にあったものづくりに生かすことに課題がある。

指導改善のポイント

☆学んだ知識・技能や生活経験をもとにしたものづくりの活動を積極的に取り入れるとともに、目的に合ったものづくりができているかどうかを振り返る場面を設定する。

【 物 質 】

<定着が見られる内容>

- 実験器具の基本的操作方法が概ね身に付いている。
- 物を水に溶かしても全体の重さは変わらないという科学的な概念を、他の場面にも当てはめて考えることがよくできる。

<課題が見られる内容>

- ◆実験から得られた結果を根拠として考えをまとめ、記述することに課題がある。

指導改善のポイント

☆一般化した法則を導き出すために、観察や実験で得られた複数の事実について、他者と意見交流したり考察したりすることを重視した授業改善を図る。

今後に向けて

- ⇒ねらいや着眼点をより明確にした観察や実験の取り組みを通し、主体的な学びの態度を育成する。
- ⇒実験や観察結果をもとに、根拠となる事実を明確にして自分の考えを記述したり他者に説明したりする言語活動を多く取り入れ、学びの質を高める。
- ⇒学んだ知識や技能を生かす、具体的な活動場面を多く取り入れる。